



オンラインカジノによる^{とばく}賭博は犯罪です！

最近、芸能人やスポーツ選手がオンラインカジノを利用していたことが問題となり、ニュースでも大きく報道されています。皆さんも目にしたことがあるのではないのでしょうか。

オンラインカジノによる賭博（お金や物品などを賭けて勝負を争うこと）は犯罪です！今回は、オンラインカジノとは何かや、どのような犯罪が成立し、どのような危険があるのかについて紹介していきます。



オンラインカジノとは？

「**オンラインカジノ**」は、スマートフォンやパソコンなどを通じてオンライン上で、お金や物品などを賭けて、ゲームの勝ち負けを競うものです。「カジノ」のイメージにあるようなスロットやカードゲームだけでなく、スマートフォン用のパズルゲームのようなものや格闘技・スポーツなどの勝敗を競うものもあります。

一般のオンラインゲームでの課金との境界が曖昧になりやすく、また、スマートフォン1台でどこからでも参加できることから、未成年者を含む若い世代を中心に広がっていることが大きな問題となっています。

どんな犯罪になるの？

オンラインカジノサイトの多くは海外で運営されているといわれています。

しかし、**その国では合法的に運営されているとしても、日本国内からオンラインカジノサイトにアクセスして賭博を行った場合、「賭博罪」などの犯罪が成立します。**

通常の「賭博罪」であれば50万円以下の罰金、複数回の利用などから「^{じょうしゅう}常習賭博罪」が成立する場合には3年以下の懲役刑を科される可能性があります。

オンラインカジノサイト上では「違法ではない」という記載があったり、「海外で合法的に運営されているから大丈夫」といったネット上の情報もありますが、これらは**間違った情報です！**

違法であることを知っているかどうかは関係ない！

「オンラインカジノは違法ではない」「海外で合法に運営されているから大丈夫」といった誤った情報を信じてしまい、**本人にオンラインカジノの利用が違法であることの自覚が全くなかった場合でも、賭博罪などの犯罪は成立します**。「知らなかった」は言い訳になりませんので、きちんと法律上の扱いを学び、ルールを守ることが重要です。

近時の政府等の対応と取締りの強化

政府もオンラインカジノの広がりへの対応を急いでおり、2025年3月に「ギャンブル等依存症対策推進基本計画」の改訂がなされ、オンラインカジノの広告や紹介サイトへのアクセスを抑止する取り組みなどが盛り込まれました。また、与野党の議員も、「ギャンブル等依存症対策基本法」の改正を目指す動きを見せており、今国会中での成立を目指しています。オンラインカジノサイトの利用による賭博罪等で検挙された人数は、2024年の1年間だけでも279人に及びます。政府・警察はオンラインカジノ利用の取締りを強化しています。



ギャンブル依存症や借金状態に陥るリスク

2025年3月に警察庁が公表した調査結果によれば、オンラインカジノの経験者500人のうち約6割の人が、ギャンブルをやめたくてもやめられない「ギャンブル依存症」であることを自覚していることが分かりました。また、オンラインカジノがきっかけで借金をした経験がある人は、オンラインカジノの経験者の約5割、10代では約6割に上っています。

また、オンラインカジノの利用は、犯罪を犯してしまうことになるだけでなく、健康や経済状況にも大きな悪影響を及ぼす危険があります。



オンラインカジノによる賭博は犯罪です。誤った情報に惑わされることなく、法律上の扱いや危険性をきちんと知り、決して利用しないようにしましょう。

担当：佐藤 真澄、稲垣 尊仁、橋永 果南、若尾 和哉